

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： (1 組：松崎) (2 組：平澤) (3 組：平澤) (4 組：平澤) (5 組：松崎) (6 組：松崎)

使用教科書： (新版 公共 数研出版)

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、倫理的主体として活動するために必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら考えたことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して、国民主権を担う公民として、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1部 第3章 公共的な空間における基本原理</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代立憲主義の考え方の基本的な理解を踏まえ、国民主権、基本的人権の尊重、権力分立、法の支配など、近代憲法を構成する諸原則に関する知識を身につけさせる。 敗戦から、GHQと日本政府による大日本帝国憲法の見直しに至る経緯についての基本的な理解を踏まえ、日本国憲法の基本原則に関する知識を身につけさせる。 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代立憲主義の考え方をを用いて、国づくりにおける憲法制定の重要性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現できるようにする。 最高法規としての憲法の位置づけに関する基本的な考え方をを用いて、憲法改正手続きの妥当性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現できるようにする。 平等権に関する基本的な考え方にに基づき、現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現できるようにする。 精神的自由に関する基本的な考え方、身体的自由、経済的自由を用いて、主な訴訟や判例の妥当性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解させる。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 近代憲法に流れる考え方 多数決のジレンマと近代憲法主義の意義 日本国憲法に生きる基本的原理 平等権、自由権 <p>・教材</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書 パワーポイントスライド <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタル資料集 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代立憲主義の考え方の基本的な理解を踏まえ、国民主権、基本的人権の尊重、権力分立、法の支配など、近代憲法を構成する諸原則に関する知識を身につけている。 敗戦から、GHQと日本政府による大日本帝国憲法の見直しに至る経緯についての基本的な理解を踏まえ、日本国憲法の基本原則に関する知識を身につけている。 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代立憲主義の考え方をを用いて、国づくりにおける憲法制定の重要性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 最高法規としての憲法の位置づけに関する基本的な考え方をを用いて、憲法改正手続きの妥当性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 平等権に関する基本的な考え方にに基づき、現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 精神的自由に関する基本的な考え方、身体的自由、経済的自由を用いて、主な訴訟や判例の妥当性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。 	○	○	○	13
<p>第2部 第1章 私たちと法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会規範における法の特色に関する基本的な理解を踏まえ、法の種類や法の秩序に関する資料を活用して、社会における法の役割や機能に関する知識を身につけさせる。 所有権や契約に関する基本的な理解を踏まえ、契約の成立や解除などの資料を活用して、法的な権利と責任に関する知識を身につけさせる。 司法の役割、刑事裁判とその課題などについて理解し、知識を身につけさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法に基づき社会を形成するという基本的な考え方をを用いて、法の役割や限界などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現し表現させる。 契約の考え方、消費者の権利と責任などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現できるようにする。 契約の考え方、消費者の権利と責任などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わることができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の形成を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解させる。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 法や規範の意義と役割 契約と消費者の権利・責任 司法参加の意義 <p>・教材</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書 パワーポイントスライド <p>・一人1台端末の活用 等</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタル資料集 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会規範における法の特色に関する基本的な理解を踏まえ、法の種類や法の秩序に関する資料を活用して、社会における法の役割や機能に関する知識を身につけている。 所有権や契約に関する基本的な理解を踏まえ、契約の成立や解除などの資料を活用して、法的な権利と責任に関する知識を身につけている。 司法の役割、刑事裁判とその課題などについて理解し、知識を身につけている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法に基づき社会を形成するという基本的な考え方をを用いて、法の役割や限界などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現し表現している。 契約の考え方、消費者の権利と責任などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 契約の考え方、消費者の権利と責任などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の形成を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解できている。 	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

